

引火点試験器－試験方法の種類（JIS K 2265による分類）

試験方法の種類	適用基準	適用油種例	該当機種（自動）	該当機種（手動）
タグ密閉法 (TCC)	引火点が93°C以下の試料。 ただし、次の試料には適用できません。 ① 40°Cの動粘度が 5.5 mm ² /s 以上、または 25°Cの動粘度が 9.5 mm ² /s 以上の試料。 ② 試験条件下で油膜ができる試料。 ③ 懸濁物質を含む試料。	原油、工業ガソリン、灯油、航空タービン 燃料油	RFT-301 RFT-301L（低温用）	210-ER
迅速平衡密閉法	引火点が -30～300°Cの試料。	原油、灯油、軽油、重油、航空タービン 燃料油	RFE-301	230-D
ペンスキーマル テンス密閉法 (PMCC)	引火点が40°Cを超える密閉法引火点の測定 が必要な試料で、タグ密閉法が適用できない 試料。	A法：原油、軽油、重油、電気絶縁油、 さび止め油、切削油剤、各種潤滑油 B法：重油、使用潤滑油、 カットバック アスファルト、 高粘度物質など	RFP-301	200-ESR
クリーブランド 開放法 (COC)	引火点が79°Cを超える試料。 ただし、原油、燃料油は除きます。	石油アスファルト、流動パラフィン、 エアーフィルタ油、石油ワックス、 さび止め油、電気絶縁油、熱処理油、 切削油剤、各種潤滑油	RFC-301	220-ER